

【2022年卒 就職活動振り返り調査TOPIC】 就職先確定学生の振り返りから見る、オンライン説明会活用のヒント

自分自身の「働きやすさ」や「やりがい」を確かめる機会にすると
企業理解を深められる

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）のよりよい就職・採用の在り方を追究するための研究機関・就職みらい研究所（所長：増本 全）は、企業・各種団体等への就職活動を実施した2022年卒大学生・大学院生を対象に、「就職活動振り返り調査」を実施いたしました。調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

学生は自分自身の「働きやすさ」や「やりがい」をイメージしながら、積極的に質問する姿勢を



研究員 清水山 隆洋

オンライン説明会が一般化しつつありますが、対面の方が企業をよく知ることができると考えている学生、就職支援に関わる方々も多いのではないのでしょうか。私たちは就職先を確定した2022年卒学生に、合同説明会・個別説明会について「Web・対面どちらの実施がよいか」聞きました。いずれも過半数はWeb支持・2割前後が対面支持でした。対面支持の理由からは、企業の雰囲気・人柄に触れられることへの期待が見て取れます。

しかしWeb支持・対面支持にかかわらず、多くの学生は企業の「将来性」「待遇」「働く条件」「仕事にやりがいを感じられそうか」を、入社を決め手としていました。特に、合同説明会についてWeb支持の学生では、対面支持の学生に比べて、「自分のやりたい仕事ができそうか」を入社の決め手にしている割合が高い傾向が見られました。

オンラインのコミュニケーションは対面に比べ、相手の雰囲気や人柄をつかみにくいと言われる一方、言語化された情報の伝達には優れるとも言われます。学生の皆さんがオンライン説明会に参加する際は、企業から話を聞くだけでなく、自分にとっての「働きやすさ（待遇・働く条件）」や「やりがい（仕事のやりがい・やりたい仕事）」をイメージしながら、企業への質問を通して具体的に確かめる機会にすると、企業理解をぐっと深められると思います。

合同説明会・個別説明会の、Web・対面での実施状況

（就職先確定者/単一回答）

	実施状況 (%)				
	Webのみ実施	Web・対面どちらも実施	対面のみ実施	未実施	Web実施・計
合同説明会 n=2515	24.0	31.4	3.9	40.7	55.4
個別説明会 n=2515	19.7	28.6	3.1	48.6	48.3

本件に関する
お問い合わせ先

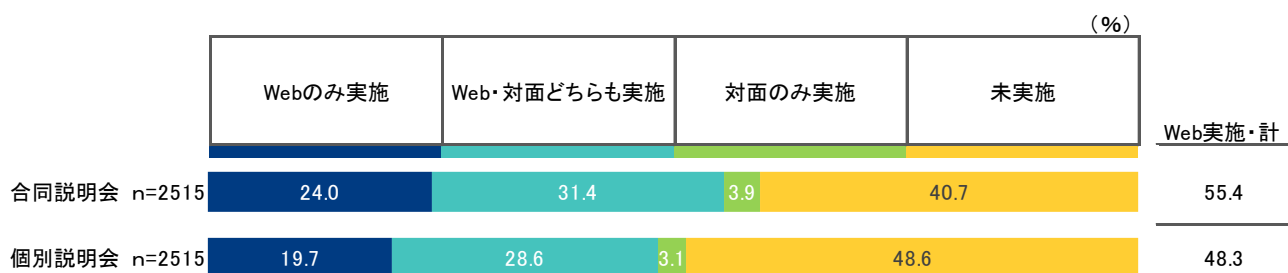
<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

2022年卒学生の就職活動において、オンライン説明会が一般化している

合同説明会・個別説明会について、Web・対面での実施状況を聞いた。

合同説明会については、就職先確定者のうち55.4%（Webのみ実施経験あり24.0%、Web・対面どちらも実施経験あり31.4%）が、Webで実施した経験があった。個別説明会については48.3%（同19.7%、28.6%）、Webで実施した経験があった。対面のみでの実施は、それぞれ1割に満たなかった。

■ 合同説明会・個別説明会の、Web・対面での実施状況 （就職先確定者／単一回答）



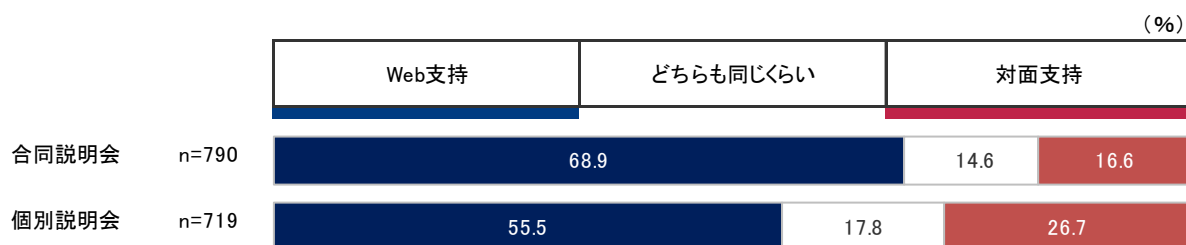
合同説明会・個別説明会とも過半数がWeb支持

合同説明会・個別企業説明会のそれぞれにおいて、Webと対面どちらも実施した学生に「Webと対面、どちらがよいか」を聞いた。

合同説明会については68.9%、個別説明会については55.5%の学生が、Web実施を支持。過半数がオンラインでの説明会実施を支持している。

■Web・対面の実施を支持する割合

(就職先確定者のうち、Web・対面どちらも実施経験ありの学生/単一回答)



※合同説明会・個別説明会について、それぞれ「Web・対面どちらも実施」した回答者（P2参照）に、5件法（「Webの方がよい」「どちらかというWebの方がよい」「どちらも同じくらい」「どちらかという対面の方がよい」「対面の方がよい」）で聞いている

※「Web支持」は「Webの方がよい」「どちらかというWebの方がよい」の計。「対面支持」は「どちらかという対面の方がよい」「対面の方がよい」の計

対面支持の理由は、企業、社員、人事担当者の雰囲気や人柄を知りたいから

合同説明会についてWeb支持の理由には、交通費・時間・効率に関するものが目立った。対面支持の理由には、企業の雰囲気・人柄に関するものが目立った。

個別説明会についてWeb支持の理由には、合同説明会と同様に、交通費・時間・効率に関するものが目立った。個別説明会についてのWeb支持理由では、「地方と都会の学生の格差を低減（解消）できる」という理由も散見された。対面支持の理由には、こちらも合同説明会と同様に企業の雰囲気・人柄に関するものが目立った。個別説明会についての対面支持理由では、「企業に（自分のことを）覚えてもらえそう」という理由も散見された。

■Web・対面を支持する理由（合同説明会）

（就職先確定者のうち、Web・対面どちらも実施経験ありの学生／自由回答記述式）

Webの方がよい	対面の方がよい
Webのほうが移動も無いため対面よりも多くの会社の説明やブースに参加できるから。	企業の人の雰囲気などを知ることができるから。
対面である必要性を感じない。時間の融通が利く。	社員の方の人柄が見やすい。
遠隔地にも交通費がかからず参加出来る。	参加したい企業を雰囲気決められるから。
コロナ禍での移動が大変なため。	対面のほうが、学生の雰囲気も企業の雰囲気も分かるし比較しやすいと感じた。
行く手間が省けるし、ブースの混雑も気にしなくていいから。	服装や立ち居振る舞いなど企業の方の人柄や雰囲気が伝わってくるから。
オンラインだとリラックスして聞くことができ、興味の無かった企業の説明も聞くことができ有意義だと感じたから。	周りの学生の雰囲気も伝わる。
合同なので色々な企業を見るには対面よりもWEBのほうが効率が良いから。	(Webでは)質問を拾ってもらえないことがあったため。

■Web・対面を支持する理由（個別説明会）

（就職先確定者のうち、Web・対面どちらも実施経験ありの学生／自由回答記述式）

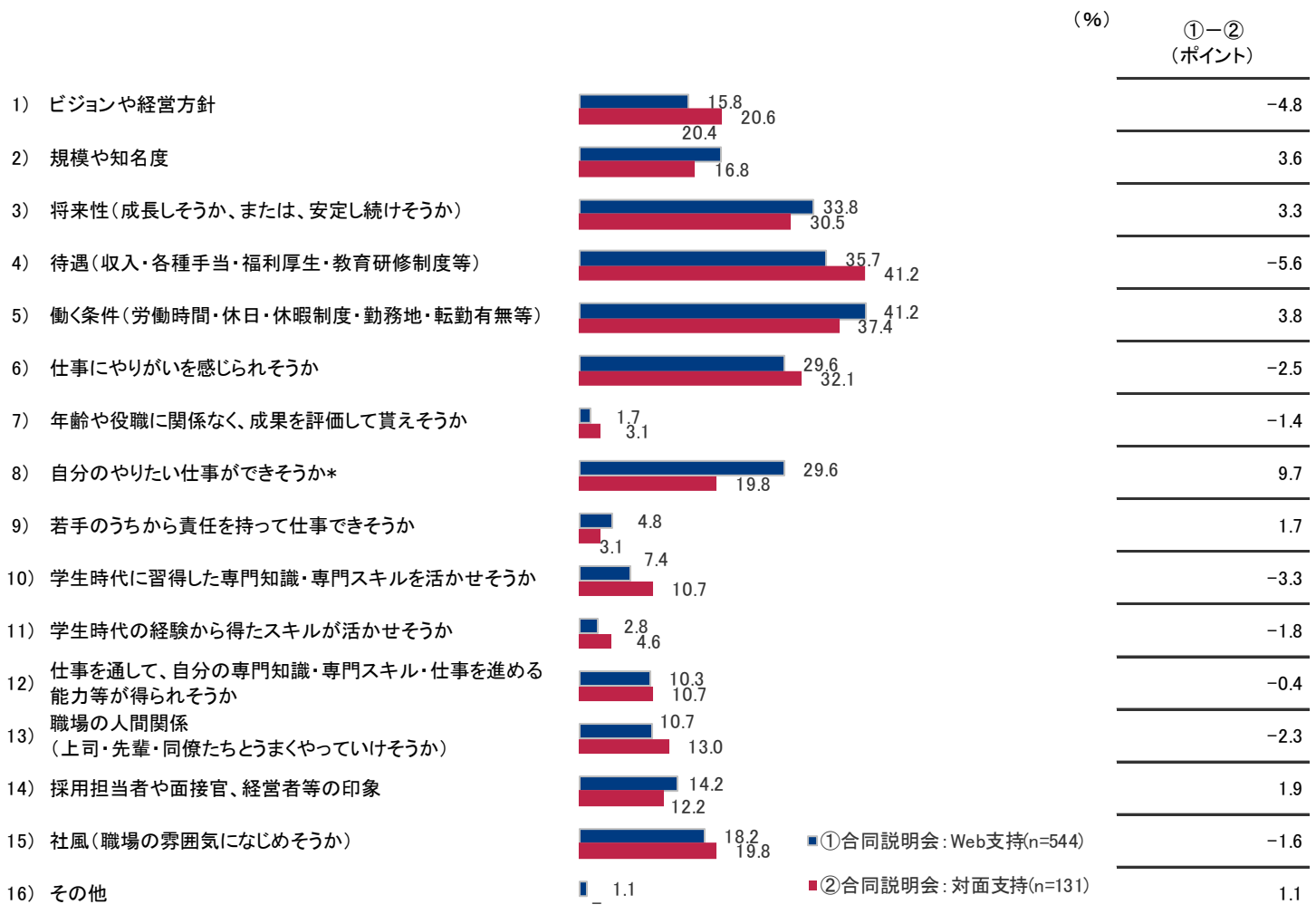
Webの方がよい	対面の方がよい
毎回、現地に行くには時間や交通費がかかるため。	個々の企業の人や雰囲気が感じ取りやすい。
移動にかかる費用や時間が削減でき、地方と都会の学生の格差を低減できるから。	対面であれば企業の雰囲気なども直に感じられるから。
交通費がかからずに希望の企業の説明を聞けるから。	採用担当者などの雰囲気を知りたいから。
予定がつきやすいので参加しやすい。	職場の人間関係や雰囲気を最も重視していたため。
人数に制限が無い場合もあるため多くの人が参加できるし、時間の有効活用にもなる。	対面のほうが社内や社員の雰囲気がより分かりやすいと感じたから。
Webのほうがたくさんの企業の話聞くことができ、選択肢が広がる。	企業の方に顔を覚えて貰いやすく、対面のほうが質問等もしやすいため。
対面で得られる情報と変わることが少なそうだから。	対面のほうが質問しやすく、質問した際に人事の記憶に残りやすいと思うから。

Web支持・対面支持とも、入社の決め手は「将来性」「待遇」「働く条件」「仕事にやりがいを感じられそうか」

まず、合同説明会についてWeb支持・対面支持別に、学生の入社の決め手についての回答を聞いた。「将来性」「待遇」「働く条件」「仕事にやりがいを感じられそうか」の4項目は、Web支持・対面支持とも回答率が高かった。Web支持・対面支持の間で回答率に差異が確認できた（5%水準または1%水準で有意差が確認できた）項目は、「自分のやりたい仕事ができそうか」であった。Web支持が29.6%で、対面支持に比べて9.7ポイント高かった。

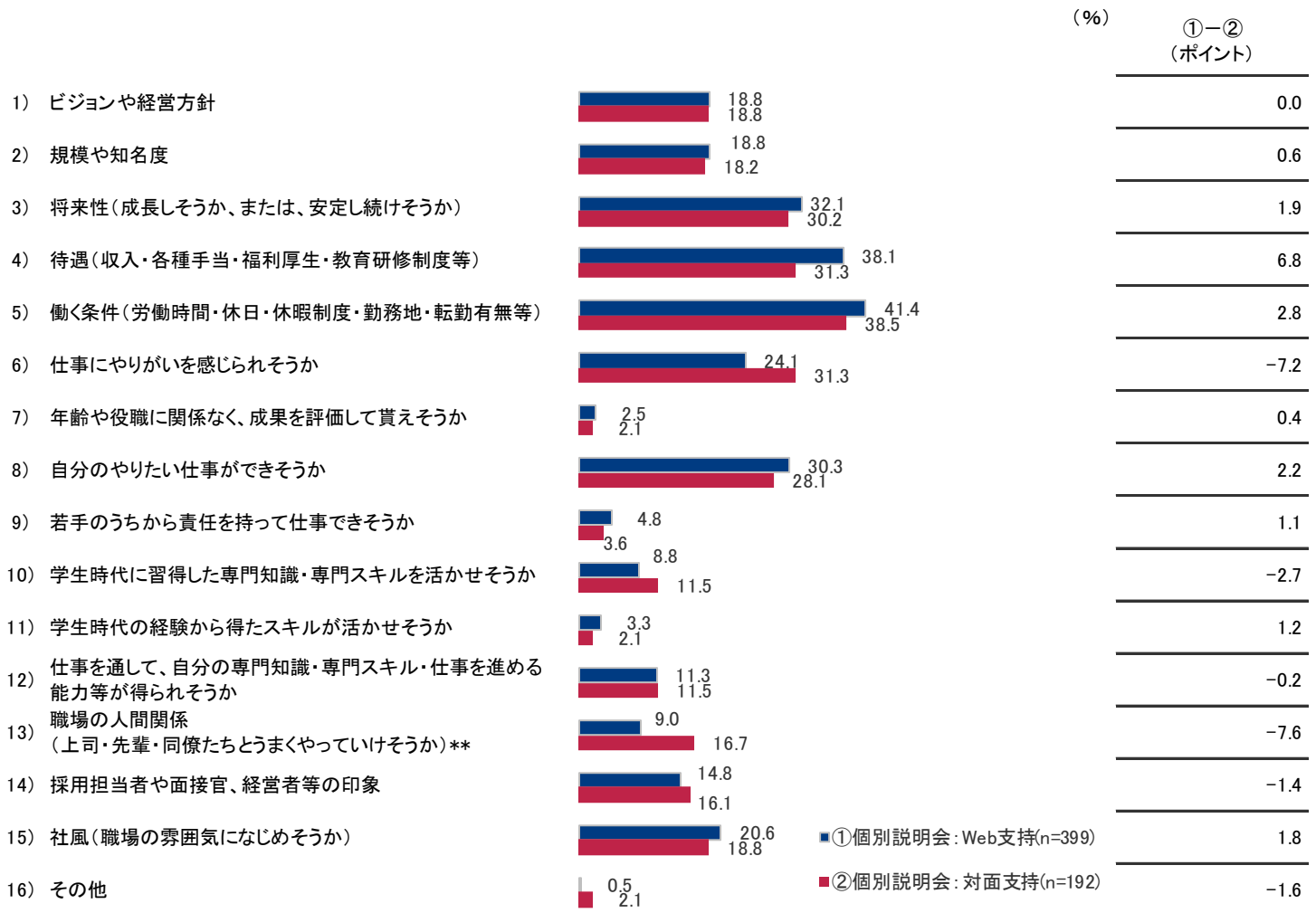
次に、個別説明会についてもWeb支持・対面支持別に、学生の入社の決め手についての回答を聞いた。(P6)「将来性」「待遇」「働く条件」「自分のやりたい仕事ができそうか」の4項目は、Web支持・対面支持とも回答率が高い。Web支持・対面支持の間で回答率に差異が確認できた（5%水準または1%水準で有意差が確認できた）項目は、「職場の人間関係」であった。Web支持が9.0%で、対面支持に比べて7.6ポイント低かった（ただし対面支持においても「職場の人間関係」の回答率は16.7%であり、「将来性」「待遇」「働く条件」「自分のやりたい仕事ができそうか」の回答率の方がとても高い）。

■ 合同説明会Web支持・対面支持別 企業・各種団体等への入社の決め手 (就職先確定者のうち、Web・対面どちらも実施経験ありの学生/3つまで回答)



* p<0.05, ** p<0.01

■個別説明会Web支持・対面支持別 企業・各種団体等への入社決め手
 (就職先確定者のうち、Web・対面どちらも実施経験ありの学生/3つまで回答)



* p<0.05, ** p<0.01

調査概要

調査名称 | 大学生・大学院生の就職活動の振り返り調査 2022年卒
調査目的 | 大学生・大学院生の就職活動の振り返り実態を把握する
調査方法 | インターネット調査
調査協力 | 株式会社クロス・マーケティング
調査対象 | 民間企業等を対象に就職活動を行った、全国の大学4年生・大学院2年生の男女
調査期間 | 2021年11月24日～2021年12月1日
集計対象 | 有効回答2868人のうち、就職先確定者2515人

調査対象の抽出条件

インターネット調査のモニターにスクリーニング調査を行い、調査時点の学年と就職活動経験を確認。大学4年生・大学院2年生、かつ、民間企業等を対象に就職活動を行った学生を抽出。

上記学生に本調査にて、調査時点における2022年4月以降の進路確定状況を確認し、「民間企業に就職する」「民間企業以外（公務員、教員、その他団体職員など）に就職する」と回答した学生を「就職先確定者」と判別。

調査結果を見る際の注意点

○ %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計が100%と一致しない場合がある。

調査データ引用に関するお願い

【出典：リクルート 就職みらい研究所『〇〇〇〇（資料名）』】と明記していただければ、基本的にご利用いただけます。

ご利用に際しては必ず事前に下記URL（お問い合わせフォーム）よりご一報お願いいたします。

お問い合わせ：<https://rec.fofa.jp/rcasmk/a.p/115>

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人一人のライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、メディア&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、4万6,000人以上の従業員とともに、60を超える国・地域で事業を展開しています。2020年度の売上収益は2兆2,693億円、海外売上比率は約45%になります。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人一人が輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>